

めているが、住民不安にこたえる放射性物質への対策や、広域処理の実行にむけ、全責任を持った対策を明確に示していないため、処理が進んでいない。

広域処理及び対応について考え方を伺う。

高薄町長

災害廃棄物の広域処理については、北海道のなかでも十勝は農業が基幹産業であり、食糧基地であるということからも、災害廃棄物の受入れについて、地域住民から理解を得ることとは、大変難しいのではないかとと思われる。

また、本町のごみ処理施設の処理能力では、受入れることは難しい。

今夏の節電計画は

佐藤幸一議員

北海道電力の泊発電所全基が5月に運転停止となったことなどにより、北

海道電力や道は今夏7%の節電を呼びかけている。

本町の今夏に向けての節電計画について伺う。

高薄町長

今夏の電力供給の逼迫が懸念されることから、5月に十勝地域電力供給連絡会議が行われ、節電目標が示された。

町としても7%の目標値を定め、公共施設等の節電を進めていく。

また、町民にも広報等を通じて節電への啓発活動を行っていききたい。

再び問う、住宅リフォーム助成制度で経済活性化を

佐藤幸一議員

昨年の定例会で住宅リフォーム助成制度の導入について質問したが、町長は人口対策の観点から平成24年度に向けて前進できると検討したいと答弁された。

本年度は見送られたが、

地域経済の活性化のためにも、同助成制度の創設について伺う。

高薄町長

本町では耐震化への助成措置はしているが、住宅リフォームへの補助は、現状、財政的には難しい。

しかし、町内にはまだ未水洗化の住宅もあることから、その解消のため、リフォームとあわせ、たなかで、それに対し、補助金としてではなく、無利子での融資制度という方法も考えていけるのか検討したい。

学校給食センターの衛生管理状況

佐藤幸一議員

今年も食中毒の発生が心配される季節となってきたが、学校給食センターの衛生管理はどのように行われているのか。

1年を通しての衛生管理に関する計画はあるのかを伺う。



学校給食センターでは、栄養士の指導のもと衛生管理も徹底され、毎日約900食を調理し、各小中学校等に提供されている。

池田教育委員長職務代理者

学校給食センターにおける衛生管理は、文科省が定める学校給食衛生管理基準に基づいて行われている。

調理時には栄養士が指導徹底をはかっており、調理作業が清潔かつ迅速に行われているか、結果を毎日記録している。また、調理員へ洗浄・消毒マニュアルを配布し、日常業務に役立てている。

そのほか、給食の検査や保管・給食従事者の衛生・健康状態もチェックしており、さらに施設や衛生管理体制についても、年に1回定期検査等を実施して

確認を行っている。

また、同センター管理運営委員会では、1年間の事業計画をつくっており、そのなかで衛生管理面についても随時協議している。

太陽光発電の普及を

中島里司議員

7月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートするが、太陽光発電をつけていなくても、その制度によって電気料に組み込まれるしくみとなっている。

太陽光発電は、クリーンで枯渇しない、設置場所を選ばない、そしてメンテナンスが簡単というメリットがある。

町としても、一般住宅に対して、太陽光発電の推進に積極的に取り組むべきだと思いが、町長の考えを伺う。

高薄町長

太陽光発電の一般住宅への補助制度は、十勝管内でも実施している町村があるが、本町の場合、事業の優先順位を考慮すると、財政的に実施は難しいと考えている。

国による一般住宅への太陽光発電の補助は、見直しにより減額されてきており、十勝圏活性化推進期成会では、道に対し、新たに補助制度を設けて、国が減額した分を補助するよう要請している。

その動向をみながら、本町としても、太陽光発電の普及の目標や住民への公平性を考慮し、支援策を協議していききたい。